



保護者のみなさま

麻しん（はしか）、百日咳が増えています！

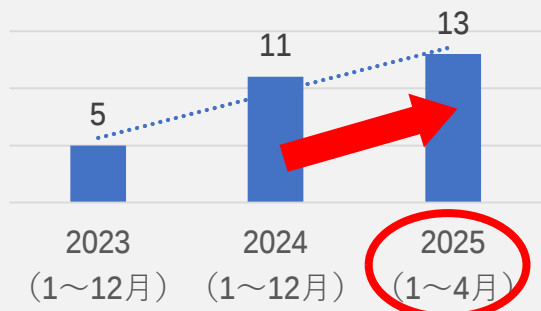
～ かからないために予防接種を受けましょう ～

麻しん（はしか）

現在、海外で広く流行しています！

国内各地で感染者の報告があり、渡航歴などから多くは海外流行国（最近ではベトナムが多いです）で感染したと推定されています。今後も海外での感染、帰国後の国内での接触による感染の広がりには注意が必要です！

大阪府における麻しん発生数

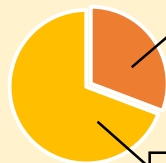


参考：大阪府感染症情報センター：麻しん発生状況 過去一覧
<https://www.iph.pref.osaka.jp/infection/maslin-old.html>

2025年は4月時点で

去年(1年間)の発生数を超えています！

年代の内訳



10歳未満：31%

*MRワクチン接種（計2回）の機会がある年代

1回目：1～2歳まで

2回目：小学校入学前の1年間

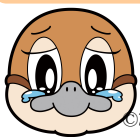
20～30歳代：69%

2回目のワクチン接種率が低い年代



**麻しんはワクチン接種が唯一の感染予防手段です！
 ワクチン接種歴を母子手帳でしっかり確認してください。**

麻しんって、
なに？



©2014 大阪府もずやん

- ▶麻しんウイルスによる感染症で、人から人へ感染が広がります。
- ▶感染力が非常に強く、空気感染をするため手洗い・マスクでは予防できません。
- ▶免疫がない場合、感染するとほぼ100%発症します。
 （症状：発熱・発疹・咳・鼻汁・目の充血など）
- ▶妊婦や赤ちゃんが感染すると、流産や重症化のリスクがあります。

詳しくはこちら



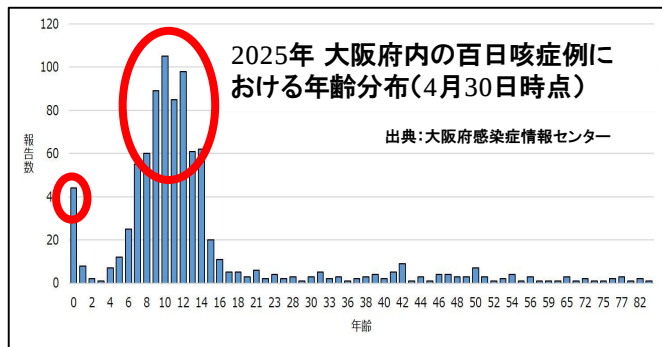
大阪府：麻しんについて

厚生労働省：麻しんについて

百日咳

2018年以降、最も高い報告数です！

9～14歳（小中学生）の報告が多く、下のきょうだい（赤ちゃん）へ感染する可能性があります。1)



予防にはワクチンが有効です！

- ▶5種混合ワクチン(DPT-IPV-Hib)等の**ワクチン接種が有効**です。ただし、百日咳ワクチンは**4年～12年程度で効果が減弱**と言われています。2)
- 就学前に追加ワクチン(任意接種)が推奨**されています。3)

ワクチン未接種の6か月未満(特に3か月未満)の赤ちゃんが感染すると重症化し、亡くなってしまうこともあります。

百日咳って、なに？

- ▶百日咳菌による感染症。飛沫・接触感染で人から人へ感染が広がります。
- ▶子どもから大人まで感染しますが、子どもが感染すると重症化しやすく注意が必要です！
- 症状：長く続く咳。夜間に多く、ヒューという音を立てて息を吸う。



©2014 大阪府もずやん

詳しくはこちら



1)、3)
日本小児科学会



2)大阪府感染症情報センター：百日咳